

和歌山縣報

號

外

大正二年十月十四日

○通牒照會

○依命通牒

○官第一六三〇號

大正二年十月^{十四}日

知事官房主事

郡市長殿
町村役場御中

明治三十一年^{十二}訓令第四百二號ニ基キ調査報告セラルヘキ本年末人口統計材料甲號統計表ニ付左記依命及通牒候

- 一 最近ニ於ケル帝國ノ戸口ハ本調査ニ依リ統計セラル、モノニシテ本統計ハ一ニ國勢觀察ノ資料タリ又法令上標準トスル戸口ハ本統計ニ基クモノナレハ本調査ノ重要ナル今更申ス迄モ無之候得共調査ノ任ニ當ル職員ハ深ク意ヲ此ニ須ヒ苟モ誤謬無之様致度
- 一 本調査ニ依リ報告セラルル第一號乃至第三號表ノ調製ニ付テハ別記様式ノ小票ヲ以テ各人毎ニ完全ナル調査ヲ遂ケ製表上誤謬、違算ナキハ勿論所定ノ期限ヲ失セサル様御注意相成度
- 一 左記事項ハ從來ノ例ニ徴スルニ誤解又ハ不整理ノモノ多々見受ケラレ候付一層御注意相成度

- (イ) 出、入寄留簿ノ不整理 現住人口ノ調査ニ當テ出、入寄留簿ヲ整理セス其儘ニテ調査計上セシ向アリシモ右ハ調査以前ニ於テ充分ノ整理ヲ遂ケタル後調査ニ着手セラレタシ
- (ロ) 戸數調査 現住戸數ハ有税、免税ノ如何ヲ問ハス總テ調査計上スルモノナルニ往々有税戸數ノミヲ計上シ免税戸數ヲ省ク向アリ
- (ハ) 所在不明者 失踪ノ宣告ヲ受ケサル所在不明ノ本籍人ヲ削除シ若ハ他ヘ出ノ部ニ計上スル向アルモ右ハ不可ナリ例令現住セサルモノト雖一定ノ手續ナキ間ハ本籍人トシテ調査シ亦現住人トシテモ計上スヘキモノトス
- (ニ) 本籍人ニシテ其ノ市町村ニ居住セサル者 他ヘ出ノ届出ナキ者又ハ在監人ニシテ主務官廳ヨリ通達ナキ者ハ例令現住セサルモノト雖一定ノ手續ナキ者ハ亦前項ニ同シ
但シ外國、朝鮮、臺灣、樺太ヘ出住セシ者ハ制規上調査ノ確據ナキヲ以テ役所、役場ニ備フル簿冊又ハ書類ニ依リ若ハ實地ニ就キ調査スヘキモノトス
- (ホ) 朝鮮、臺灣等ヨリ來リテ其ノ市町村ニ居住スル者 第三號表「本市町村ニ入寄留」中ニハ現行寄留ニ關スル制規ニ依リ入寄留ノ届出アルモノノミヲ計上スルモノナルカ故ニ朝鮮、臺灣人ハ計上セサルコト、ナルモ右ニテ差支ナシ
- 一 郡ハ取扱手續第五條及第六條ノ手續ヲ爲シタル上別ニ第一號及第三號表ノ様式ニ倣ヒ郡計表ヲ作製シ翌年三月十五日迄ニ當廳ヘ提出セラレタシ

右

第一號様式

本籍人小票

第二號樣式

入寄留人小票

- 一、本票ハ男性ニハ白紙ヲ女性ニハ赤紙ヲ用フヘシ第二號小票亦同シ
- 二、本小票ノ寸法ハ徑横共三寸トス

住所		關配係	身分	族稱	生年	氏名	住所
		有配偶	戶主	華族			
		無配偶	家族	士族	年生		
	他へ出						
	其						
	他						
	在營艦兵卒						
	囚人及懲治人						
	在朝鮮						
	在臺灣						
	在樺太						
	在外國						
	他市町村						
	へ出寄留						
	郡内町村						
	へ						
	他郡市						
	へ						
	他府縣						
	へ						

氏名	
入寄留	郡内他町村ヨリ 他郡市ヨリ 他府縣ヨリ

(本小票ノ寸法ハ徑三寸横一寸五分トス)

小票記入心得

記入ニ關スル一般ノ注意

- 一 本票ニ印刷シアル文字ハ各個人ニ對スル調査事項ノ質問ニシテ書キ入又ハ圈点ヲ附スルハ之ニ對スル答ナリ此ノ答ハ本票ニ依リテ計算セラル、基礎ナレハ記入上最モ注意ヲ要ス
- 一 本票ハ其ノ記入終了次第簿冊ニ據リ調査セシモノハ必ス校合シ重複、誤脱ナキ様深ク注意ヲ要ス

各票記入ニ關スル心得

- 一 住所 郡市名ヲ畧シ大字名(市ニ在リテハ町名)ニテモ差支ナシ但シ學校、社寺、病院等ニ居住スルモノハ其ノ名稱ヲ附記スルヲ要ス
 - 一 氏名 氏名ノ記入ヲ爲スハ調査上重複又ハ脱漏ヲ防クノ必要アルカ故ナリ
- 以下各票共各項ノ該當事項ニ對シ文字ノ右傍ニ圈点ヲ附スヘシ

製表方法

一 製表方法ハ種々アルモ左ノ方法ニ依ルトキハ簡便ニシテ且正確ナルヘシ

一 先ツ小票ヲ男ト女ニ大別シ次ニ男ノ小票ヲ戸主ト家族トニ撰別シ更ニ戸主ノ小票ヲ華族、士族、平民ノ三種ニ分チ家族モ右三種ニ分チ女モ亦男ト同様ニ撰別スルトキハ第一號表ニ於ケル分類ハ全ク結了スヘシ是ヨリ其ノ男ノ戸主タル華族ノ小票枚數ヲ計ヘ華族ノ戸主タル男ノ欄ニ記入シ次ニ士族、平民ト順次ニ之ヲ計ヘ記入シ女ノ戸主モ同様ノ手續ヲ爲シ次ニ之ヲ加算シテ總計ヲ作り戸主、家族ノ欄ニ記入シ終ル毎ニ記入シタル計數ト小票ノ枚數ト對照シテ符合スルトキハ其ノ計數ハ正確ナルヘシ

一 第二號表ハ第一號表調製ノ際撰別セシ男女ノ區分ヲ混同セサル様ニ爲シ置キ其ノ内ノ戸主、家族及族稱ノ區分ヲ解キ先ツ男ヲ有配偶ト無配偶トニ分チ然ル後其ノ有配偶ノ小票ヲ生年別ノ各該當欄ニ其ノ數ヲ記入シ次ニ之ヲ加算シテ總計ヲ作り其ノ記入シタル計數ト小票ノ枚數ト對照シテ符合スレハ其ノ製表ハ正確ナルヘシ

一 第三號表ハ第二號表調製ノ際撰別セシ男女ノ區分ヲ混同セサル様爲シ置キ其ノ内ノ生年別及有配偶、無配偶ノ區分ヲ解キ而シテ男ノ小票中他ヘ出ノ者ヲ撰別シ之ヲ各項ニ該當スルモノニ分類シ其ノ枚數ヲ計ヘテ記入シ女モ亦同様ノ手續ヲ經テ記入シ次ニ之ヲ加算シテ總計ヲ作り其ノ記入シタル計數ト小票ノ枚數ト對照シテ符合スレハ其ノ計數ハ正確ナルヘシ

以上ハ本籍人小票ニ依リ其ノ人員ヲ種別ニ分チ記入シタル事實トス次ニ入寄留人小票ヲ先ツ男ト女ニ分チ次ニ之ヲ「郡内他町村ヨリ」「他郡市ヨリ」及「他府縣ヨリ」ニ分チ其ノ枚數ヲ計ヘテ記入スヘシ

本市町村本籍人口トハ第一號表ノ總計ノ行合計欄ノ男、女、計ノ各數ト同一ナルニ依リ其ノ數ヲ

本行各欄ニ記入スヘシ

出入差引本市町村ニ於ケル現住人口ハ本市町村本籍人口ニ本市町村入寄留ノ數ヲ加ヘ他ヘ出トアル總計ノ行ノ數ヲ引去リテ得タル數ヲ記入スヘシ

現住戶數ハ精確ナル簿冊又ハ實地ニ就キ調査シタル數ヲ記入スヘシ

(參照)

人口統計材料調査並取扱手續 (明治卅一年十二月
訓令第四百二號)

甲號人口統計材料統計表取扱手續

第一條 人口統計材料統計表ハ此ノ手續ニ依リ市町村長ニ於テ調製スヘキモノトス

第二條 第一號、第二號、第三號表ハ明治三十一年ヲ以テ第一回トシ以後毎五年即チ六年目ニ於テ十二月三十一日ヲ期トシ其ノ日ノ現在數ヲ各樣式ニ示ス所ニ依リ調査スヘキモノトス

第三條 第四號表ハ毎年ノ事實ヲ樣式ニ示ス所ニ依リ毎年調査スヘキモノトス

第四條 第一號乃至第四號表ハ各二通ヲ第二條第三條ノ區別ニ依リ毎年又ハ每五年ニ調製シ其ノ調査ノ事實ノ屬シタル年ノ翌年二月十五日迄ニ市役所ハ縣廳ヘ町村役場ハ所轄郡役所ヘ發送スルモノトス

第五條 郡役所ハ町村長ノ調製シタル統計表ノ體裁及計數ヲ調査シ並誤謬ノ訂正ヲ爲スニ必要ノ手續ヲ爲スモノトス

第六條 郡役所ハ町村長ノ調製シタル統計表ヲ調査シ各號ヲ區別シテ一郡内ノ分ヲ一綴トシ左ノ

雛形ニ依リ目錄ヲ添付シ毎年三月十五日迄ニ縣廳ヘ發送スルモノトス

目錄

大正二年十月十四日

第三種郵便物認可

第一號表 何通
 第二號表 何通
 第三號表 何通
 、、、、
 以上何綴
 右調査進達候也

年 月 日

縣 廳 宛

郡 役 所 名

第七條 市町村ノ統計表ニ記載スル事項ニ關シ内閣統計局ニ於テ問合ヲ要スル場合ハ内閣統計局
 ヨリ縣廳又ハ郡役所ヲ經由セス直接市町村長ヘ往復スルコトアルヘシ

第一號 本籍人口族稱別 (每五年調)

縣郡市(町村)名 大正二年十二月三十一日現在

族 稱	戶 主		家 族		合 計	
	男	女	男	女	男	女
華 旅						
士 族						
平 民						

總計

(注意)

一本表ハ每五年十二月三十一日ヲ期トシ其ノ市町村内ニ本籍ヲ有スル者ノ同日ニ於ケル現在
數ヲ翌年一月三十一日迄ニ戶籍簿ニ記載セラレタル所ニ依リ調査記入スルモノトス

第二號 本籍人口有配偶者無配偶者生年別 (每五年調)

縣郡市(町村)名
大正二年十二月三十一日現在

生年	有配偶		無配偶		合		計
	男	女	男	女	男	女	
大正二年生							
大正元年生							
明治四十五年生							
明治四十四年生							
同四十二年生							
同四十一年生							
同四十年生							
計							

大正二年十月十四日

第三種郵便物認可

三欄ニ記入スル數ハ第一號表總計ノ行ノ合計ノ三欄ニ記スル數ト符合スルコトヲ要ス

第三號 市町村出入人口及現住戶數 (每五年調)

縣郡市(町村)名

大正二年十二月三十一日現在

種		別		計	
男	女	計	他	出	入
			自郡内他町村へ	他市町村へ出寄留	出
			自縣内他郡市へ	他(本項ニハ次ノ六項ノ者ヲ除ク)	入
			他府縣へ	陸海軍在營艦兵卒	出
			計	囚人及懲治人	入
				在朝鮮	在
				在臺灣	在
				在樺太	在
				在外國	在

現住戸數	出入差引本市町村ニ於ケル現住人口	本市町村本籍人口	別				總計
			本市町村へ入寄留			自郡内他町村ヨリ	
			計	他府縣ヨリ	自縣内他郡市ヨリ		

(注意)

一本表出入別ハ每五年十二月三十一日ニ於ケル本市町村ノ本籍人ノ内出寄留其ノ他ニテ本市町村外ニ在ル者ト本市町村内ニ本籍ヲ有セサル者ニシテ本市町村内ニ入寄留ノ者トノ數ニシテ翌年一月三十一日迄ニ知ルコトヲ得タル者ヲ調査記入スルモノトス

一他へ出ノ部他市町村へ出寄留ノ項ニハ其ノ市町村ニ本籍ヲ有シ他ノ市町村ニ居住セルモノ、數ヲ記入スルモノトス

一本市町村本籍人口ハ第一號表ノ總計ノ行ニ記入スル合計ノ三欄即チ男、女、計ノ各數ト同一

ノモノナルニ依リ其ノ數ヲ本行各欄ニ記入スルモノトス

一 出入差引本市町村ニ於ケル現住人口ハ本市町村本籍人口ニ本市町村へ入寄留ノ數ヲ加ヘ他

へ出トアル總計ノ行ノ數ヲ引去リテ得タル數ヲ記入スルモノトス

右出入別ハ寄留簿又ハ其ノ他市役所及町村役場ニ備ワル精確ナル簿冊若クハ書類ニ依リ調

査記入スヘシ其ノ寄留簿ニ依ラサルモノニハ各項ニ就キ何ノ簿冊又ハ書類ニ依ルカラ必ラ

ス表末ニ附記スヘシ

一 現住戸數ハ每五年十二月三十一日ヲ期トシ本籍人タルト非本籍人タルト又戸籍上戸主タル

者ト戸主タラサル者トヲ問ハス總テ其ノ地ニ現住シテ一世帯ヲ爲ス竈數ヲ翌年一月三十一

日迄ニ知り得タル所ニ依リ調査記入スルモノトス但シ官舎、社寺、學校、病院、製造所等ノ構

内ニ住居スルモ別ニ一竈ヲ爲ス者ハ又一戸トシテ之ヲ調査記入スルモノトス

一 前項現住戸數ハ寄留簿、租税ニ關スル諸帳簿其ノ他精確ナル帳簿又ハ書類ニ依リ若クハ實

地ニ就キ調査スヘシ但シ可成詳細ニ調査ノ方法ヲ表末ニ記入スヘシ

第四號 就除籍國籍得喪失踪等 (毎年調)

縣郡市(町村)名
大正二年

種 別	種 別		合 計
	男	女	
無籍者就籍			
國籍取得者			

失踪宣告ヲ取消サレタル者	複本籍者除籍	國籍喪失者	失跡宣告ヲ受ケタル者

(注意)

一本表ハ毎年其ノ年中ノ事實ニシテ翌年一月三十一日迄ニ知ルコトヲ得タルモノヲ調査記入スルモノトス

一國籍得喪者及失踪宣告ヲ受ケタル者又ハ取消サレタル者ハ身分登記簿ニ就キ就除籍ハ戶籍簿ニ就キ調査記入スルモノトス

○通 牒

○官第一六三一號

大正二年十月十四日

知事官房

郡市役所
町村役場 御中

本年末調査ニ使用スヘキ人口統計小票及統計報告用紙ノ義縣ニ於テハ之ニ充ツヘキ印刷費無之ニ付無料配付難致候間市町村ニ於テ購入相成候様致度就テハ本用紙ハ一手ニ印刷セシムル場合ハ小票(本籍人票及入寄票(留人票ヲ通算シ)ハ千枚ニ付拾錢統計報告表(第一號表及至第四號表)ハ一部ニ付參錢五厘位ニテ購入シ得ラルヘ

ク候付縣ニ於テ印刷方便宜取計可致候條希望ノ町村ハ其ノ種類及枚數ヲ本月二十五日迄ニ郡ニ郡
ハ之ヲ取纏メ本月末日迄ニ市ハ直接當官房へ御申越相成度

追テ市町村所要枚數ハ小票ニ在テハ本籍人口及入寄留者ノ總數ト同數ナルヘク候得共書換等ヲ
見計ヒ總數ニ對スル約五分ノ増加ヲ要スヘク又報告用紙ハ縣ニ提出スヘキモノ正副二通郡ニ一
部町村ニ控一部ヲ要スルモノトセハ計四部ヲ要スヘキ筈ニ付右御心得ノ上御請求相成度尙請求
ノ際ハ本籍人小票何枚、入寄留人小票何枚報告用紙何部ト明記セラレ度爲念申添候